

株式会社オートバックスセブン 第77期 定時株主総会



2024年6月27日

注意事項

1. 携帯電話・スマートフォンはマナーモードに設定の上、会場内での通話をご遠慮ください。
2. 会場内での録音、写真や動画の撮影・配信をご遠慮ください。

株式会社オートバックスセブン 第77期 定時株主総会



2024年6月27日

動画掲載について

「監査報告」と「報告事項」の内容に限定し、
プライバシーに配慮した編集の上、
ホームページに動画掲載いたします。

非常事態発生時のお願い

万が一、不測の事態（災害など）が発生した際は、議長の指示に従って、落ち着いて行動してください。

株式会社オートバックスセブン 第77期 定時株主総会



2024年6月27日

総会運営に関する ご注意事項

株式会社オートバックスセブン 第77期 定時株主総会



2024年6月27日

本総会の株主様のご出席の状況

議決権を有する 株主様の総数	62,258名様
議決権の数	778,954個

ご出席株主様の人数※	26,162名様
議決権の数※	586,923個

※本日午前9時50分の集計

監査等委員会による 第77期の監査報告

事業報告

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

財産および損益の状況

財政状態、経営成績の概況

連結損益計算書（2023年4月1日～2024年3月31日まで）

	77期		76期 実績
	実績	前期比	
(単位：百万円)			
売上高	229,856	▲ 2.7%	236,235
売上総利益	75,424	▲ 5.1%	79,462
売上総利益率	32.8%		33.6%
販売費及び一般管理費	67,414	▲ 0.5%	67,739
営業利益	8,010	▲ 31.7%	11,722
営業利益率	3.5%		5.0%
経常利益	8,093	▲ 30.1%	11,574
特別利益	3,971	+237.4%	1,177
特別損失	1,781	+98.6%	897
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,355	▲ 12.2%	7,239
1株当たり当期純利益	81円52銭		92円87銭
自己資本当期純利益率（ROE）	5.0%		5.8%

(百万円未満切捨て)

報告セグメント別業績

		77期	前期比	76期
(単位：百万円)				
国内オートバックス 事業	総売上高	172,113	▲1.4%	174,577
	営業利益	16,721	▲21.3%	21,239
海外事業	総売上高	15,375	+13.6%	13,531
	営業利益	101	—	▲207
ディーラー・ BtoB・オンライン アライアンス事業	総売上高	44,260	▲10.0%	49,196
	営業利益	▲49	—	281
その他の事業	総売上高	18,073	▲2.7%	18,577
	営業利益	▲659	—	▲1,066
調整額	営業利益	▲8,105	—	▲8,524

(百万円未満切捨て)

国内オートバックス事業

売上高

172,113百万円

前期比

1.4%減

営業利益

16,721百万円

前期比

21.3%減

- 上期は販売促進を強化し堅調
- 下期は暖冬の影響で冬季用品の販売が低迷
- フランチャイズチェーンパッケージ変更に伴う一時的な会計処理により売上・利益減少

◆ 国内オートバックスチェーン全業態

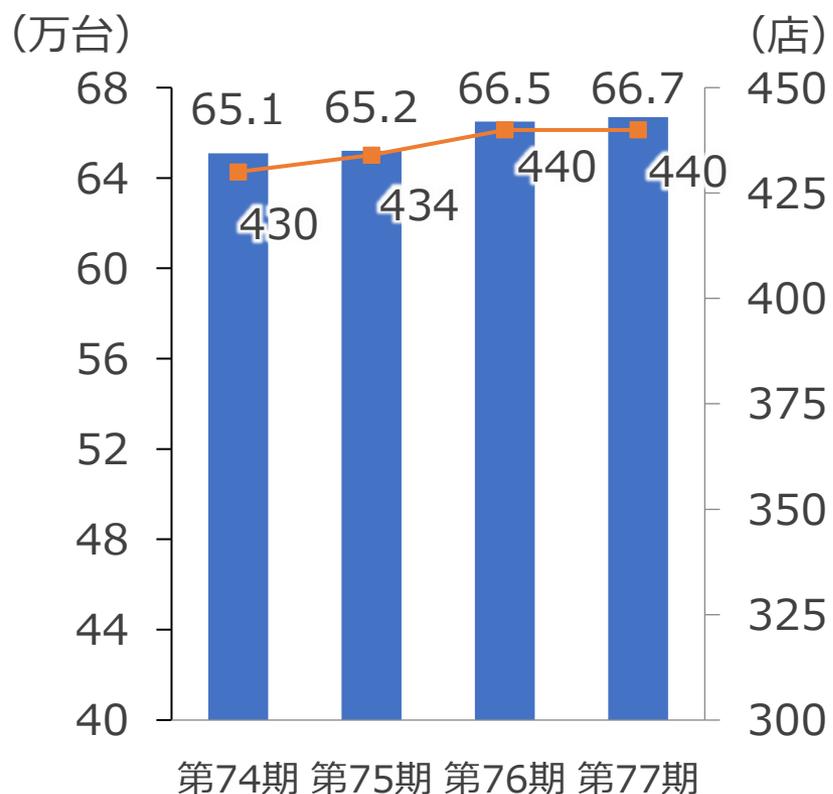


- 既存車のメンテナンス需要を背景に、オイル、バッテリーが好調
- プライベートブランドタイヤが伸長するも、暖冬によりスタッドレスタイヤが低調
- プライベートブランド商品、50周年記念商品の販売

国内オートバックス事業

◆ 車検・整備

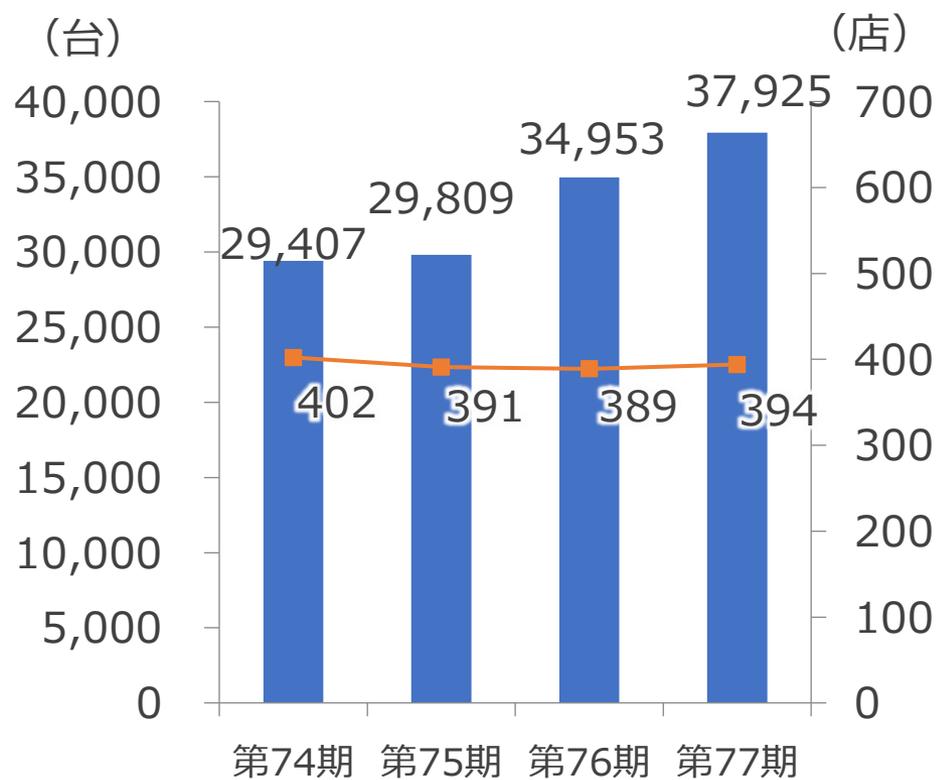
車検実施台数と指定店舗数



■ 車検実施台数 ■ 指定店舗数

◆ 車販売

車販売台数とカーズ加盟店舗数



■ 車販売台数 ■ カーズ加盟店舗数

海外事業

売上高

15,375百万円

前期比

13.6%増 ↗

営業利益

101百万円

前期比

1% ↗

既存取引先への営業強化などにより売上が伸長し、黒字化



フランス

価格の適正化や営業活動の最適化により、売上増加
不採算の2店舗を閉店



シンガポール

既存車のメンテナンス需要拡大を取り込み、ピットサービスが好調



マレーシア

インフレや金利上昇を背景に、消費者の購買意欲が低下したこと
などにより売上が減少



オーストラリア

日本国内への輸出が増加し、営業損益が改善



中国

売上高

44,260百万円

前期比 10.0%減

営業損失

49百万円

前期比 1%減

◆ ディーラー事業

- Audiの正規ディーラーを運営する子会社が好調
- BMW/MINI正規ディーラー事業を行う子会社の全株式を譲渡した影響で減収
- BYDディーラーを新規出店（BYD AUTO 宇都宮、BYD AUTO 練馬）



Audi 柏の葉



BYD AUTO 練馬

◆ BtoB事業

- オートボックス法人会員制度の加入件数が順調に増加
- 日産自動車の車種専用アイテムの企画開発、販売



日産セレナ専用インテリアアイテム

◆ オンラインアライアンス事業

- カーライフ総合情報サイト「MOBILA」オープン
- クラウド型社用車管理システム「FLEETGUIDE」の提供を開始



連結貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部	負債の部
	65,796 (▲1,567)
194,948 (+621)	純資産の部
	129,152 (+2,189)

(注) カッコ内数字は前会計年度からの増減額

(百万円未満切捨て)

その他 招集通知記載 項目

内 容	該当ページ
財産および損益の状況	19ページ
設備投資の状況	32ページ
資金調達状況	
当社グループの主要な事業内容	
当社の主要な事業所	
重要な子会社の状況	33ページ
重要な関連会社の状況	
従業員の状況	
主要な借入先および借入額	
その他当社グループの現況に関する重要な事項	

内 容	該当ページ
株式の状況	34～35ページ
会社役員の状況	36～41ページ
会計監査人の状況	42ページ
当社のコーポレート・ガバナンス	42～47ページ
会社の体制および方針	47ページ
連結キャッシュ・フロー計算書の要旨	50ページ
個別貸借対照表 個別損益計算書	51～52ページ

インターネットにて開示の項目

内 容	
事業報告	
	内部統制システムに関する基本方針およびその整備・運用状況の概要
	会社支配に関する方針
連結計算書類	
	連結株主資本等変動計算書
	連結注記表
計算書類	
	株主資本等変動計算書
	個別注記表
連結計算書類に係る会計監査人の監査報告	
会計監査人の監査報告	
監査等委員会の監査報告	

経営方針、経営環境
および
対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境

- ◆ 社会経済活動の正常化を背景に緩やかな回復傾向
- ◆ 不安定な国際情勢により先行き不透明感が継続

自動車関連業界

- 半導体不足解消に伴い、自動車の生産・販売が回復
- 一部企業による信頼問題が発生

カーアフター市場

- M&Aによる周辺事業領域への拡大
- 新たなビジネスモデルによる事業参入の活発化

対処すべき課題

長期ビジョンの達成に向け、
さらに加速度的な成長を目指し、

2024 中期経営計画

Accelerating Towards Excellence を策定

2032年度に向けた長期ビジョン
“Beyond AUTOBACS
Vision 2032”

連結売上高

5,000億円を目指す

2024
中期経営計画

“Accelerating
Towards Excellence”

5 年ローリングプラン

期間：2019年度～2023年度

成果：各事業の収益拡大
事業基盤の整備

新たな方向性

お客様にとっての 「モビリティライフのインフラ」をグローバルで目指す

- 最も得意とする小売りと卸売りの2軸に集中し強化する体制に変える
- 長期ビジョンを実現するための周辺領域への挑戦も行う
- 利益水準をもう一段押し上げつつ、安定的な還元を実現する

2026年度 経営目標

連結売上高

2,800億円

連結営業利益

150億円

ROIC

7.0%

新たな方向性を実現するための戦略

- ◆ モビリティライフを支え続ける「**タッチポイントの創出**」
- ◆ モビリティライフに合わせた「**商品・ソリューションの開発と供給**」
- ◆ モビリティライフの変化に対応した「**新たな事業ドメインの設定**」

◆ 戦略① タッチポイントの創出

- オートバックスやディーラーなどの拠点拡大
 - オンラインマーケットの構築によるチャネルの拡大
- ➔ リアルとデジタルの双方からお客様接点を強化



◆ 戦略② 商品・ソリューションの開発と供給

- サプライチェーンマネジメントおよびFC本部機能集約による競争力の強化
- ➔ オートバックスならではの価値ある商品・サービスを活用したソリューションを提案

◆ 戦略③ 新たな事業ドメインの設定

- EVソリューション事業の開発
 - マイクロモビリティの取り扱い
 - M&Aによるグループ会社化の推進
- ➔ 成長市場における事業確立、ユーザー獲得



**国内のみに限定せず、
グローバルな視点で新たなマーケットを創造**

投資

ROIC経営の推進により最適な投資判断を行いつつ、
中期経営計画期間中に**累計350億円**を投資

株主還元

1株当たり60円の年間配当を安定的に実施

組織・人事戦略

- リスキング支援、エンゲージメント向上
- 戦略的な人員配置
- ➔ 人的資本最大化、人材基盤強化



環境・社会課題解決に向けた取り組み

- EV関連領域におけるエコシステム構築
- 急速充電器の設置
- ➔ EV普及促進



連結業績計画

売上高

2,403億円

営業利益

120億円

経常利益

125億円

親会社株主に帰属
する当期純利益

77億円

50th
ANNIVERSARY



オートバックスは、2024年11月に、
1号店の出店から50周年を迎えます。

100年続く企業グループを目指して。

より一層お客様に支持される
グループへと進化してまいります。



クルマのことなら
オートバックス

質疑応答

報告事項

決議事項

第1号議案

剰余金の処分の件

質疑応答

第1号議案

剰余金の処分の件

採決

第1号議案

剰余金の処分の件

決議事項

第2号議案

取締役（監査等委員
である取締役を除く。）

5名選任の件

質疑応答

第2号議案

取締役（監査等委員
である取締役を除く。）

5名選任の件

採決

第2号議案

取締役（監査等委員
である取締役を除く。）

5名選任の件

決議事項

第3号議案

取締役に対する
譲渡制限付株式報酬制度の
一部改定の件

質疑応答

第3号議案

取締役に対する
譲渡制限付株式報酬制度の
一部改定の件

採決

第3号議案

取締役に対する
譲渡制限付株式報酬制度の
一部改定の件

株式会社オートバックスセブン 第77期 定時株主総会



2024年6月27日

取締役 紹介



ふじ
藤
わら
原
しん
伸
いち
一



にし かわ まさ ひろ
西川 征宏



み 三 村 孝 仁
むら 村
たか 孝
よし 仁



まつ だ よう すけ
松 田 洋 祐

ほり い ゆう ご
堀 井 勇 吾

監査等委員である取締役



いけ だ とも あき
池 田 知 明



こ いずみ まさ み
小 泉 正 巳



かな まる あやこ
金丸 絢子



クルマのことなら
オートバックス